

創刊に当って

城西大学大学院経済学研究科は、開設以来、昭和58年度末をもって満6か年を経過した。この間カリキュラムの充実と特化を図る一方、研究施設の改善にも力を注いできた。とくに、研究費の有効利用の一環として、昭和58年度に「資料室」を付設し、開発経済学分野の内外文献資料の整備に着手した。

この機をとらえ、研究科独自の「研究年報」を発行すべきだとの意見が提出された。しかし、今回は、準備の都合上研究論文の募集は招聘教授のみに依頼することとした。幸い、土屋喬雄、市川泰治郎の両教授から夫々最も造詣の深い歴史と政策の分野での玉稿を得て創刊号を飾ることができた。

なお、本誌の発刊に際して、これ迄2年に一度行ってきた「学務報告」は今後はこの中に収録することとした。本誌が研究科内部の業績の発表の場であるのみならず、学外の研究機関との交流の媒体となることを希ってやまない。

昭和59年10月

経済学研究科長 琴野 孝